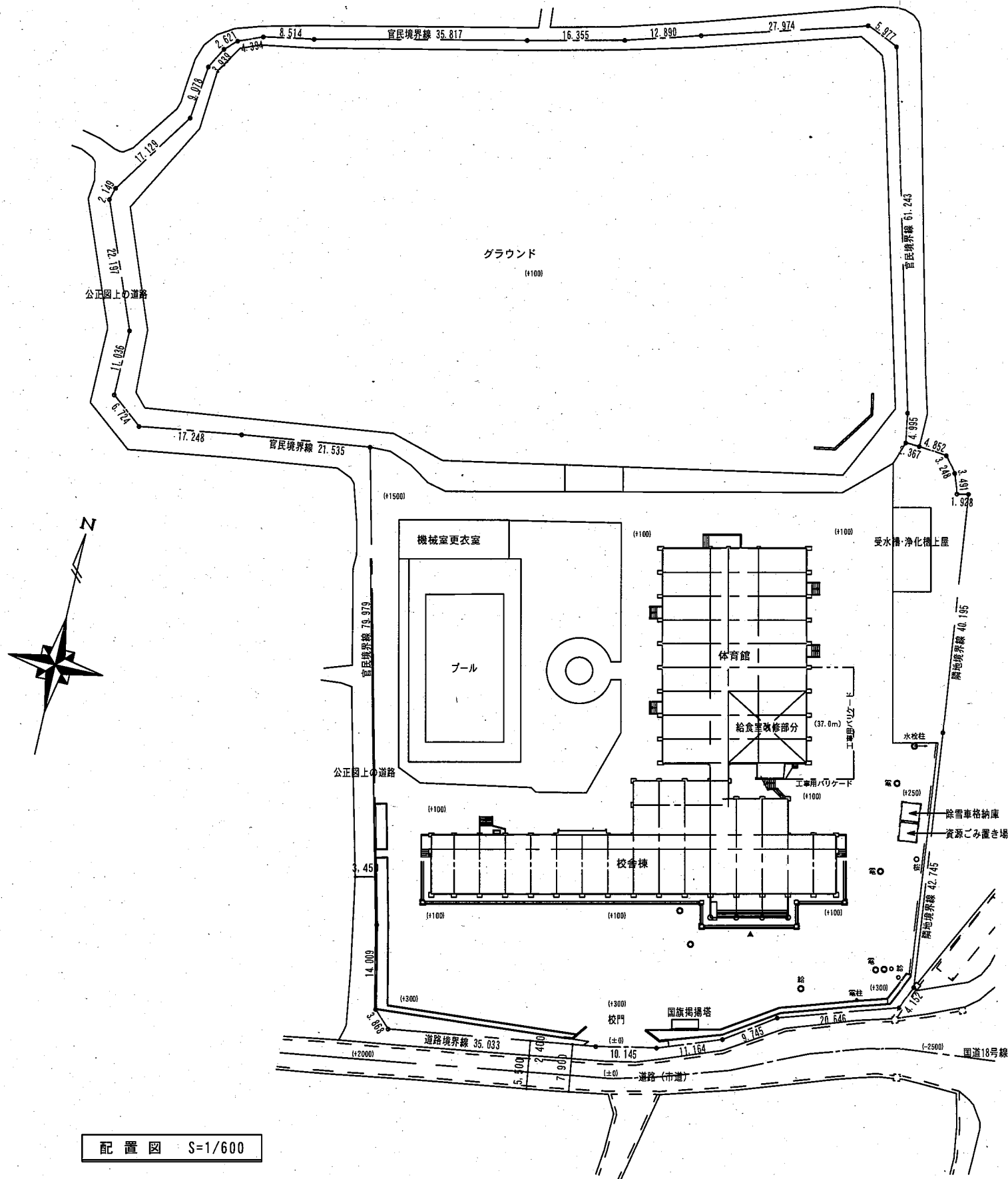
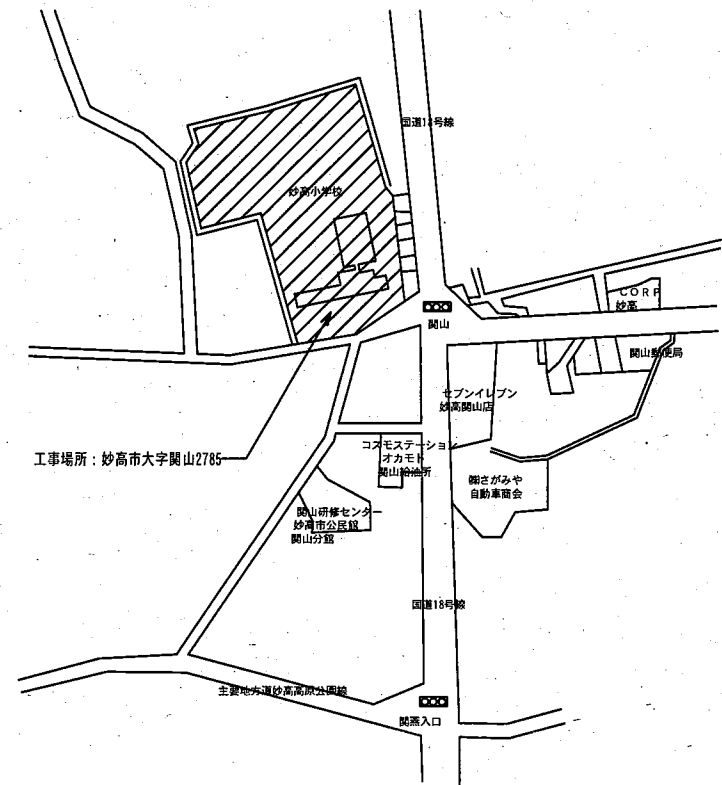


妙高小学校給食室改修・機械設備工事

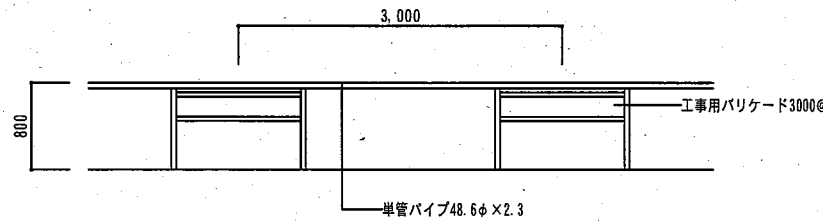
[illegible]



配置図 S=1/600



案内図 NO. SCALE



工事用バリアード詳細図 S=1/50

(建築工事)

備考

設計年月日

2025/01/16

印刷年月日

2025/ 6/ 6

担当者

承認

工事名称

妙高小学校 給食室改修工事

図面NO

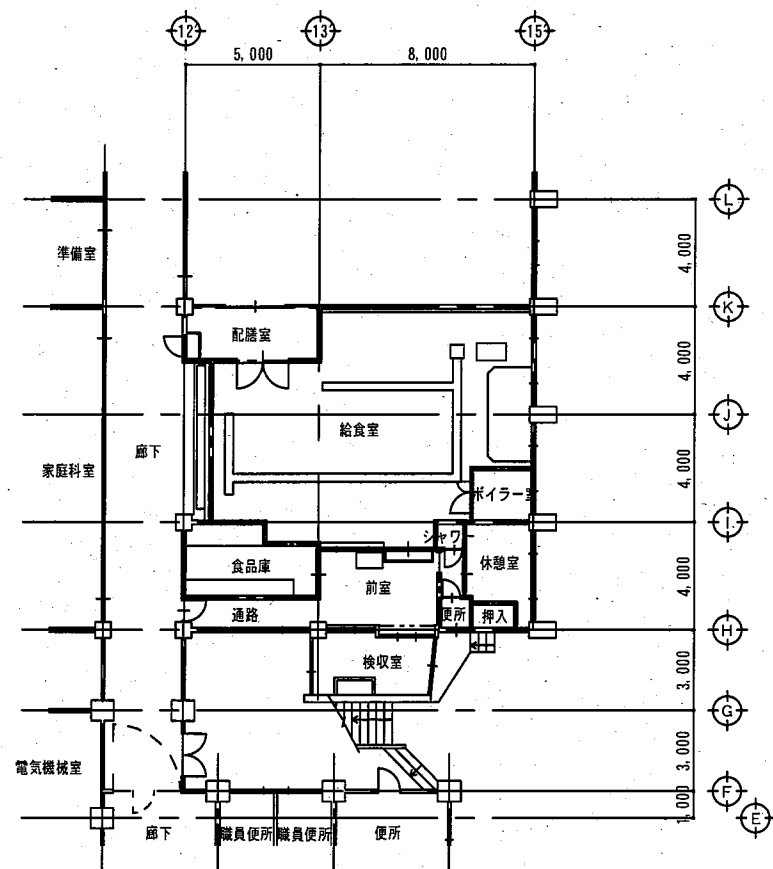
M-03

図面名称

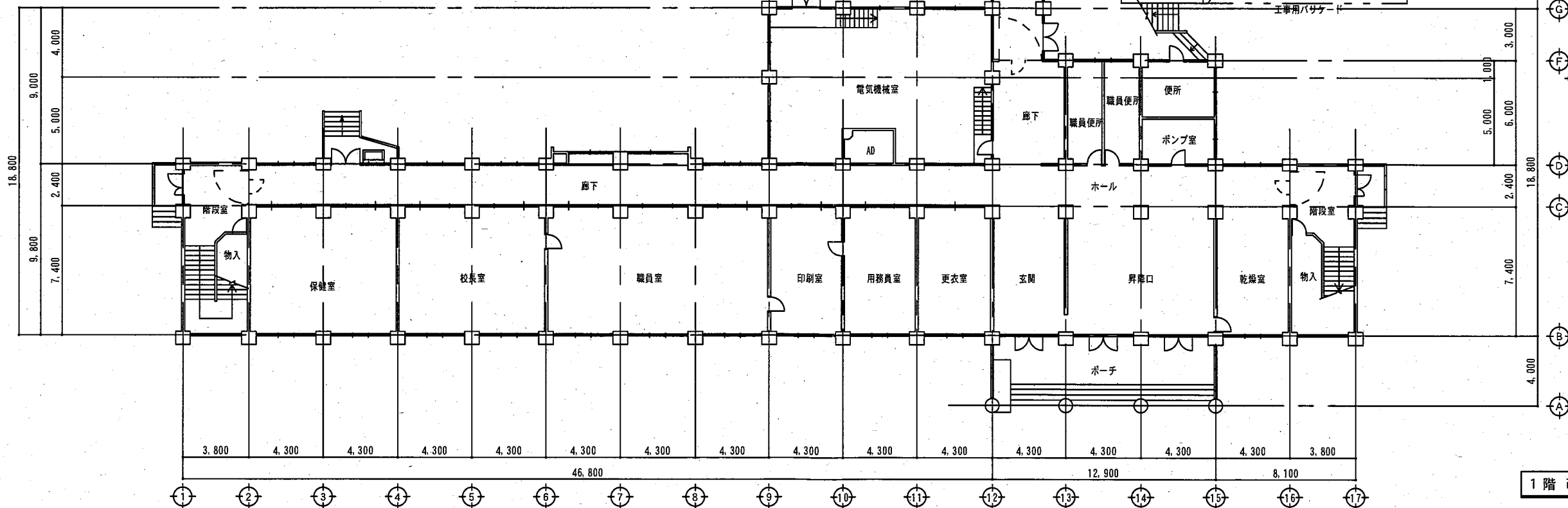
配置図・案内図・仮設詳細図

縮尺

S=1/600・A3 71%
1/50



給食室 現況 平面図 S=1/200



1階 改修後 平面図 S=1/200

備考

設計年月日
2025/01/16

担当者

承認

工事名称
こ建第8号 妙高小学校 給食室改修工事

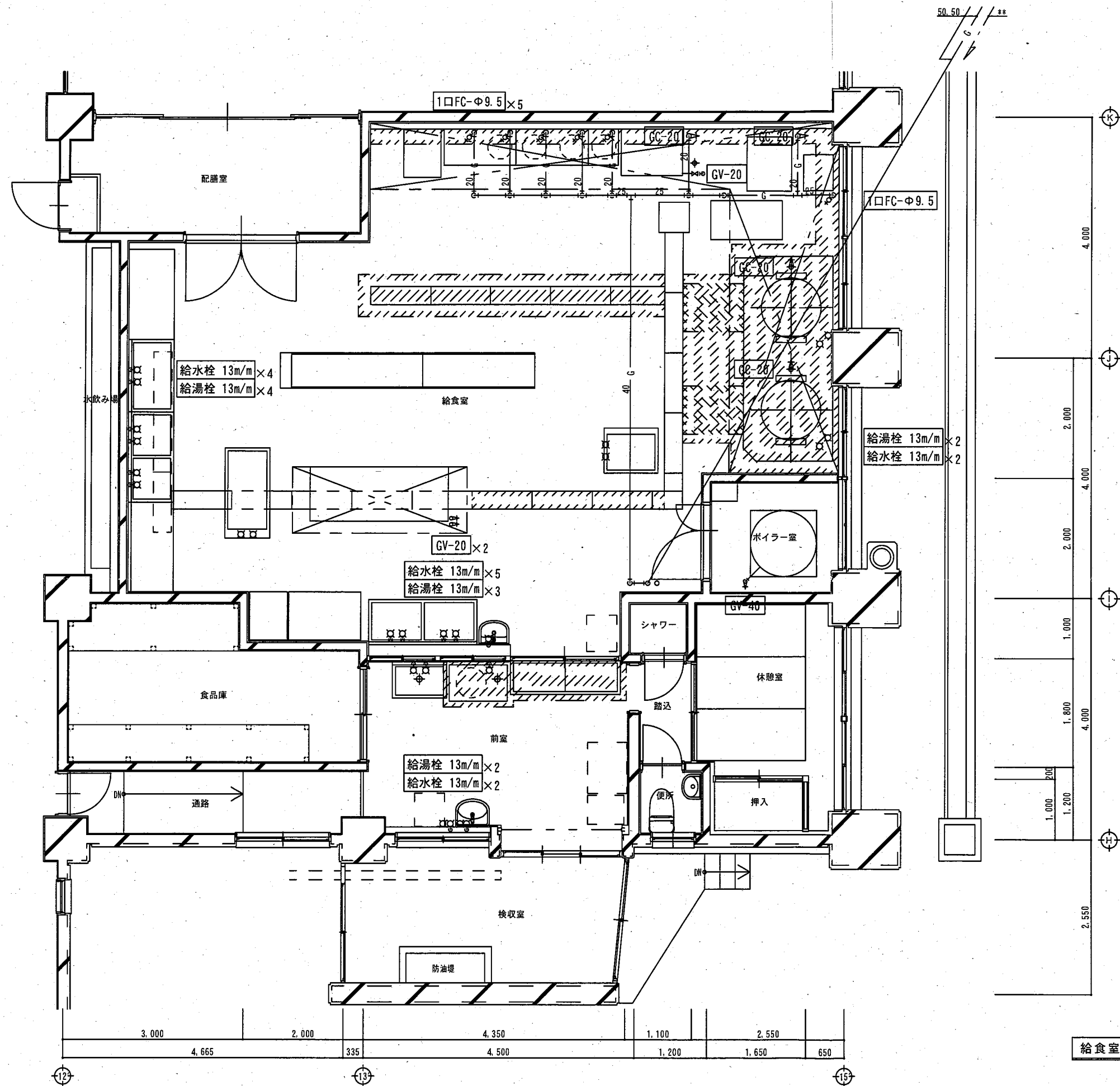
図面NO

印刷年月日
2025/ 6/ 6

図面名称
1階 現況・改修後 全体平面図

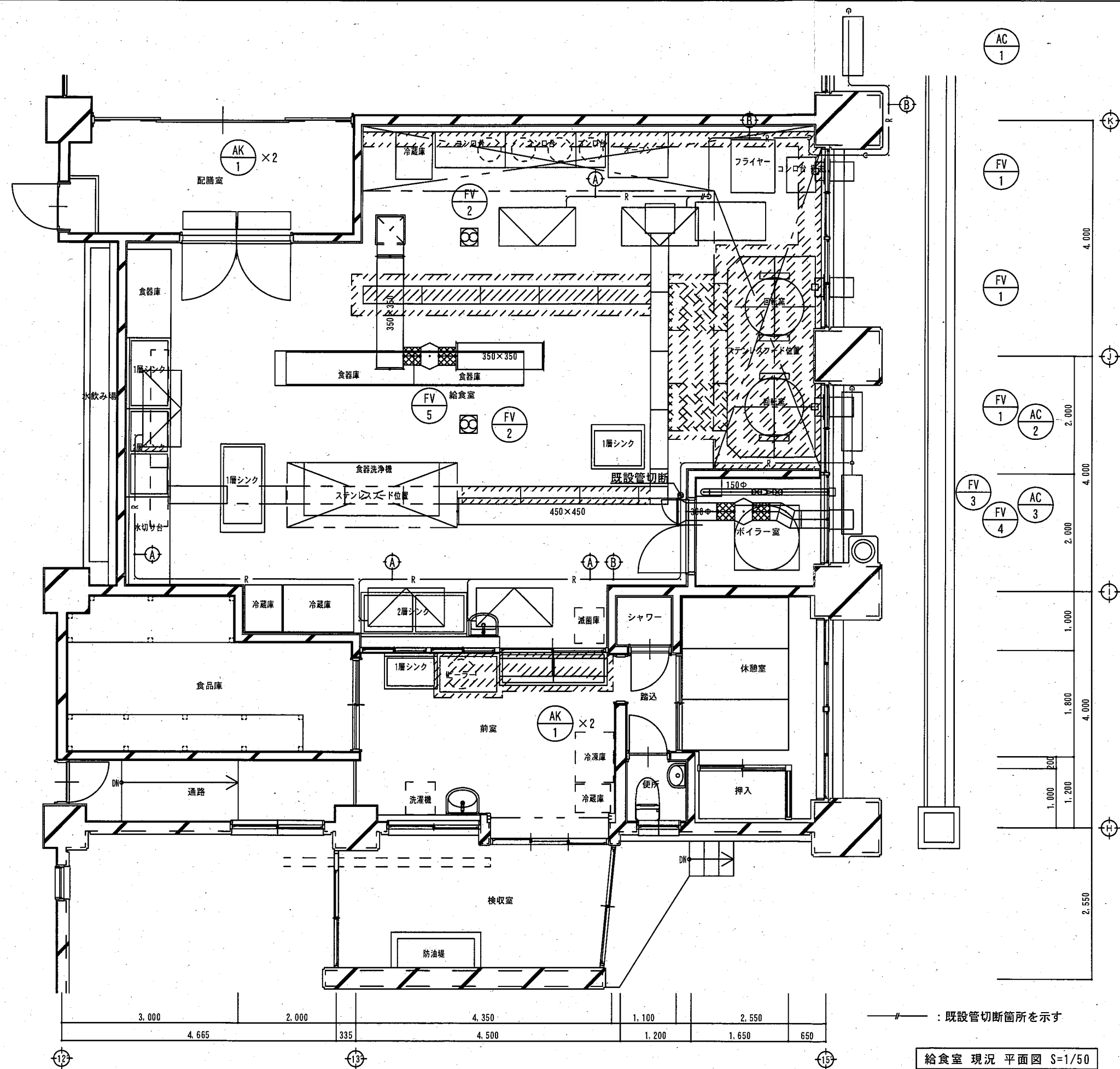
縮尺
A3 71%
S=1/200

M-04



給食室 現況 平面図 S=1/50

備考	-----		設計年月日	担当者	承認	工事名称		図面NO
	2025/01/16		妙高小学校 給食室改修工事					
	-----		印刷年月日			図面名称	縮尺	
	-----		2025/ 6/ 6			衛生設備 給食室 現況 平面図	A3 71% S=1/50	M-05

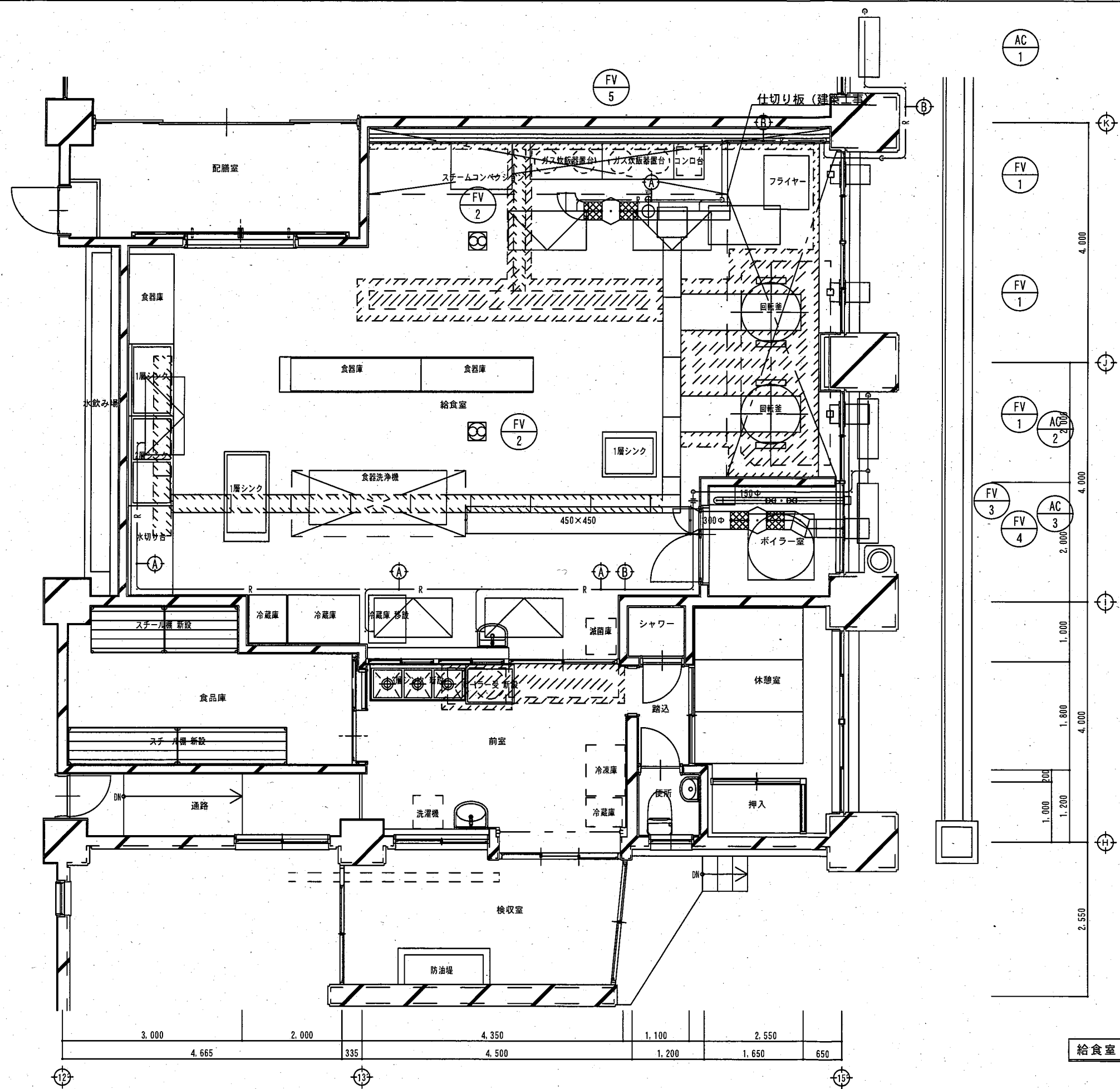


給食室 現況 平面図 S=1/50

機器表

記号	名称	摘要	数量
FV-1	有圧換気扇	300φ 排気タイプ ウェザーカバー共	3組
FV-2	天井換気扇	150φ 金属換気扇 ベントフード共	2組
FV-3	ダクトファン	150φ 中間ダクトファン (既設のまま) ベントフード共	1組
FV-4	ダクトファン	300φ 中間ダクトファン ベントフード共	1組
FV-5	ダクトファン	300φ 中間ダクトファン ベントフード共	1組
AK-1	エアーカーテン	900L	4組
AC-1	パッケージエアコン	厨房用 ツインタイプ (既設のまま) 160型	1組
AC-2	パッケージエアコン	厨房用 シングルタイプ (既設のまま) 160型	1組
AC-3	パッケージエアコン	厨房用 ツインタイプ (既設のまま) 160型	1組

備考			設計年月日	担当者	承認	工事名称		図面NO
			2025/01/16			妙高小学校 給食室改修工事		
			印刷年月日			図面名称	縮尺	
			2025/ 6/ 6			空調設備 給食室 現況 平面図		A3 71X
						S=1/50		M-07



機器表

記号	名称	摘要	数量
FV-1	有圧換気扇	ステンレス製 300φ	3組
		V=1680m3/H シャッター付	
		屋外ウェザーカバー共	
FV-2	天井換気扇	金属換気扇 150φ	2組
		V=635m3/H	
		屋外ペントフード共	
FV-3	ダクトファン	中間ダクトファン 150φ	1組
	(既設のまま)	V=300m3/H	
FV-4	ダクトファン	厨房用ストレートシロッコファン	1組
	(既設のまま)	V=2100m3/H×200Pa	
FV-5	ダクトファン	厨房用ストレートシロッコファン	1組
	(補助ファン)	V=2100m3/H×200Pa	
AC-1	パッケージエアコン	厨房用 ツインタイプ	1組
	(既設のまま)	160型	
AC-2	パッケージエアコン	厨房用 シングルタイプ	1組
	(既設のまま)	160型	
AC-3	パッケージエアコン	厨房用 ツインタイプ	1組
	(既設のまま)	160型	

給食室 現況 平面図 S=1/50

備考					設計年月日 2025/01/16	担当者	承認	工事名称 妙高小学校 給食室改修工事	図面NO M-08
					印刷年月日 2025/ 6/10			図面名称 空調設備 給食室 改修後 平面図 縮尺 S=1/50	

[illegible]

25追加特記事項

1 公共事業労働費調査
2 工事監理方式
3 適用基準等
4 総合図
5 工事成績評定
6 アスベスト含有の建材
7 中間技術検査

※ 協力する。
共同監理 あり ※ なし
・宮城工事電子納品要領(案) (国土交通省大臣官房官庁総務部総務計画課監修)
※ 工事運行に27法(新潟県土木部都市局総務課作成)
※ 作成する 作成しない
受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創発工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行に27法による。)
アスベスト含有の建材は使用しない。
ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。
低入札価格調査基準部格を下回った順で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。
検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。

＜表-1＞ 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	『官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 平成8年版』による耐震安全性の分類			
		特定の施設(・甲類・乙類)		一般の施設(・乙類)	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6

重要機器: ・配電盤 ・発電装置 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視装置

上層階の定義: 2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4層とする。

＜表-2＞ あと施工アンカー

1 共通事項	(1) 取付のボルト及びナットは原則として使用しない。やむを得ず取付のボルト及びナットを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次による。 (2) あと施工アンカーについては機械設備工事標準図(施工19)による。 (3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリルやハンマドリル等を使用し、必要埋込深さを確保するため、穿孔深さの10%への表示やナット付きドリルの使用等を行う。
2 重要機器用のあと施工アンカー	(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アンカーは金属拡張アンカー又は接着系アンカーとし、耐震計算にて決定を行う。 (2) 金属拡張アンカーの仕様は、次による。 (3) 金属拡張アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の金属系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満たす製品とする。 (4) 金属拡張アンカー本体の埋込方法は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。 (5) 金属拡張アンカー本体の径及び埋込深さは、図示による。 (6) ナット筋の種類、径及び長さとは図示による。 (7) 接着系アンカーの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。 (8) 接着系アンカーは、(社)日本建築あと施工アンカー協会の接着系あと施工アンカー品質性能判定表の性能を満たす製品とする。 (9) 接着系アンカーは、J型型とし、接着剤の材質及びJ型の種類は図示による。 (10) 接着系アンカーの埋込深さ及び許容引張荷重については、機械設備工事標準図(施工19)による。 (11) あと施工アンカーの施工には、工事内容に相应した施工の指導を行うあと施工アンカー技術管理士又は主任技士を置く。 (12) あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アンカー施工士とする。 (13) あと施工アンカーの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。

＜表-3＞ 用語の説明

(1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
(2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
(3) 「撤去・断絶」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
(4) 「取外し・再取付け」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [1-1.4.3]
(5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時別の場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

＜表-4＞ 発生材の処理等

1. 再生資材の利用
下表資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用
盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出
工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	搬出場所の有無	備考

4. 建設廃棄物の搬出
工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	処理施設名称	施設所在地	連絡先	備考

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
7. 協議について
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

＜表-5＞ 工事区分表

注) 斜線〇印を適用する。
ただし、建設規格にある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
躯体関係							
1. RC造(梁・柱・床)の貫通孔・開口部	貫通スリット材及び取付け	〇	〇	〇	〇	〇	
	補強を要する型枠材及び取付け	〇					
	補強を要しない型枠材及び取付け	〇	〇	〇	〇	〇	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の隠出し	〇	〇	〇	〇	〇	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	〇					
2. S・SRC造はり貫通口	スリット・型枠の穴埋め	〇	〇	〇	〇	〇	
	S・SRC造貫通鋼管鋼管スリット・補強	〇					
	使用されたスリットの穴埋め	〇	〇	〇	〇	〇	
3. 設備機器の基礎	予備スリットの穴埋め	〇	〇	〇	〇	〇	
	建築設計図に記入のあるもの	〇					
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)		〇	〇	〇		
	屋外・屋上の基礎	〇					
	屋上基礎で押さえに77kNしない軽微なもの		〇	〇	〇		
仕上げ関係	機器取付け用アンカー・架台		〇	〇	〇		
	屋内受水タンク用の基礎	〇					
	電気関係						
電気配管配線							
機器付属の制御盤以外の配管配線(接地線共)				〇	〇		二次側
機器付属の制御盤への電源供給配管配線				〇	〇		一次側
機器と付属操作スリットの取付け及び渡り配管配線				〇	〇		
その他(工事区分を特に関連しやすい項目)							
天井材の取外し再取付		〇	△	△	△		小規模は監督員と協議
床はつり補修		〇	△	△	△		小規模は監督員と協議
流し台、ガス台		〇					
便所手洗いカウンター		〇					衛生機器は衛生設備
洗面化粧台					〇		
誘導標識		〇					誘導灯は電気設備
ガス漏れ警報器					〇		ガス漏れ火災警報設備は電気設備
24H換気扇連動スイッチ					〇		
消火栓連動スイッチ					〇		
上記以外換気扇スイッチ			〇				

＜表-6＞ 機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

名称		測点	取付高(mm)
電力・水道	取引用計器 引込開閉器	地上～上端 "	※ 2,000 ※ 1,800
	分電盤 タンブラースイッチ(一般) " (身障者用) コンセント(一般) " (和室) " (台上) ブラケット(一般) " (踊場) " (鏡上) " (浴室) 非常照明器具用遮断器 遮断口誘導灯 廊下通路誘導灯	床上～中心 " " " " 台上～中心 床上～中心 " " 鏡上～中心 床上～中心 " 床上～下端 床上～上端	※ 1,500(上端1,900以下) ※ 1,300 ※ 900～1,000 ※ 300 ※ 200 ※ 150 ※ 2,100 ※ 2,500 ※ 150 ※ 天井高×0.9 ※ 1,200 ※ 1,500以上 ※ 1,000以下
動力	壁掛型制御盤 手元開閉器 操作スイッチ・押ボタン	床上～中心 " "	※ 1,500 ※ 1,500(上端1,900以下) ※ 1,300
	室内端子盤 中間端子盤 保安器箱 壁掛位置ボックス(一般) " (和室)	床上～下端 床上～中心 " 床上～中心 "	※ 300 ※ 1,500 ※ 天井高×0.9 ※ 300 ※ 200
時計	壁掛形時計 予時計	床上～中心 "	※ 1,500(上端1,900以下) ※ 天井高×0.9
拡声	壁掛形スピーカー 壁付音源調整器	床上～中心 "	※ 天井高×0.9 ※ 1,300
表示・電鈴	表示盤 壁付発信器 ブザー・ベル 押ボタン(一般) " (身障者用)	床上～中心 " " " "	※ 天井高×0.9 ※ 1,300 ※ 天井高×0.9 ※ 1,300 ※ 900～1,000
インターホン	壁付インターホン 身体障害者用 壁付位置ボックス(一般) " (和室)	床上～中心 " " "	※ 1,300 ※ 1,000 ※ 300 ※ 200
テレビ	機器収納箱 テレビアウトレット(一般) " (和室)	床上～中心 " "	※ 1,500 ※ 300 ※ 200
火災報知器	受信機・副受信機 専用総合盤 発信器 ベル 消火栓・表示灯 試験器	床上～操作部 床上～中心 " " " "	※ 800～1,500 " " 2,300 2,100 1,500
ガス警報器	LPGガス用 都市ガス用	床上～上端 天井面～下端	※ 300以内 ※ 300以内

備考

設計年月日
2025/01/16
印刷年月日
\$j備考設計

担当者

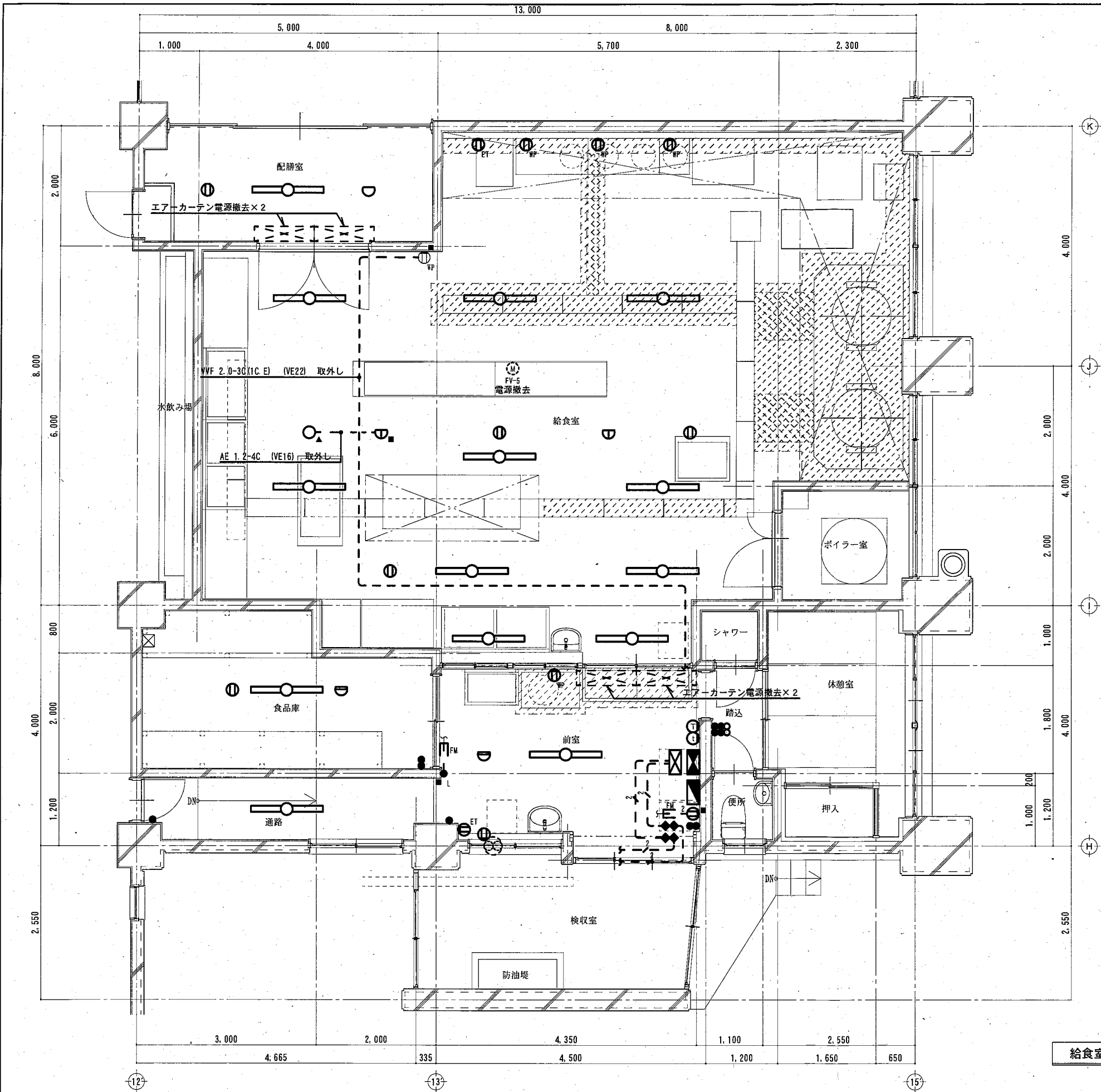
承認

工事名称
妙高小学校 給食室改修工事
図面名称
電気設備 特記仕様書(2)

図面NO
E-02

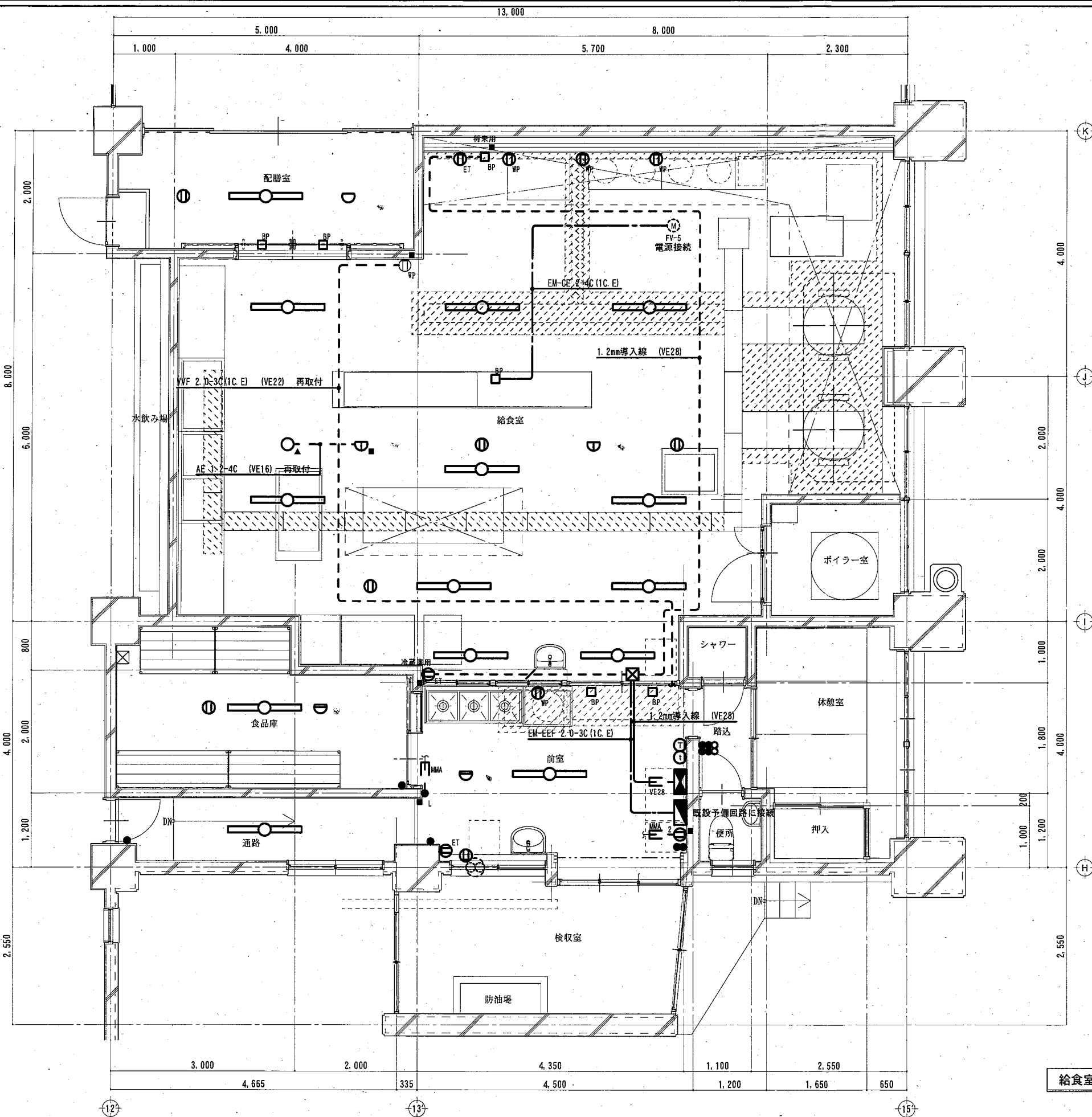
縮尺
S=N. S

A3 71%



改 修 前 凡 例				
記 号		名 称	仕 様 ・ 摘 要	
		動力盤	既設品	現況のまま
		電灯盤	既設品	現況のまま
		開閉器箱	樹脂製 (W400×H400×D160)	撤去
		LED灯	既設品	取外し
		埋込スイッチ	1P15A×1 金属P共	撤去
		埋込スイッチ	1P15A×2 金属P共	撤去
		埋込スイッチ	1LP4A×1 金属P共 樹脂製ボックス共 (ボックスは撤去)	取外し
		埋込スイッチ	1P15A×4 PL×2 金属P共	撤去
		埋込コンセント	2P15A×1 金属P共	撤去
		埋込コンセント	2P15A×2 金属P共 樹脂製ボックス共	撤去
		埋込コンセント	2P15A×1 ET付 金属P共	撤去
		防水コンセント	2P15A×2 ET付	撤去
		天井付コンセント	2P15A×1	取外し
		押ボタンスイッチ	露出型 1a+1b	撤去
		壁換気扇	機械設備工事	
		電話機	既設品	取外し
		インターホン	既設品	取外し
		スポット型感知器	差動式 2種	撤去
		スポット型感知器	定温式 1種	撤去
		スポット型感知器	定温式 1種 防水型	撤去
		丸型露出ボックス	VE用	取外し
		配管配線 (露出)	VVF 1.6-2C	FE-Mは取外し FE-Mは撤去
		配管配線 (露出)	CV 2-4C	(VE22) 撤去
		露出ボックス記号	MM1A 1個用SB等 単独配置の場合を表す	
		露出ボックス記号	MM1A 1個用SB等 既設位置ボックスに重ね配置の場合を表す	
特 記	1. 図中細線表示は既設設備、太線表示は撤去設備 (取外しも含む) を示す。			
	2. 記入なき配線は凡例による。			

給食室 現況 平面図 S=1/50



改 修 後 凡 例			
記 号	名 称	仕 様 ・ 摘 要	
	動力盤	既設品	現況のまま
	電灯盤	既設品	現況のまま
	LED灯	既設品	再取付
	埋込スイッチ	1P15A×1 金属P共	新設
	埋込スイッチ	1P15A×2 金属P共	新設
	埋込スイッチ	1LP4A×1 金属P共 樹脂製ボックス共 (ボックスは撤去)	再取付
	埋込スイッチ	1P15A×4 PL×2 金属P共	新設
	埋込コンセント	2P15A×1 金属P共	新設
	埋込コンセント	2P15A×2 金属P共 樹脂製ボックス共	新設
	埋込コンセント	2P15A×1 ET付 金属P共	新設
	防水コンセント	2P15A×2 ET付	新設
	天井付コンセント	2P15A×1	再取付
	フラッシュプレート	金属製 角ブランク	新設
	壁換気扇	機械設備工事	
	電話機	既設品	再取付
	インターホン	既設品	再取付
	スポット型感知器	差動式 2種	新設
	スポット型感知器	定温式 1種	新設
	スポット型感知器	定温式 1種 防水型	新設
	ブルボックス	SS200×200×100WP-SUS	新設
	丸型露出ボックス	VE用	再取付
	配管配線 (露出)	VVF 1.6-2C MM1A	配線は再取付 MM1Aは新設
	配管配線 (露出)	EM-EEF 2.0-3C (1C E) (VE22)	新設
	露出ボックス記号	MM1A 1個用SB等 単独配置の場合を表す	
	露出ボックス記号	MM1A 1個用SB等 既設位置ボックスに重ね配置の場合を表す	
特 記	1. 図中細線表示は既設設備、太線表示は新設設備 (再取付も含む) を示す。		
	2. 記入なき配線は凡例による。		
	3. 取り付け位置は、十分に関係者と打ち合わせる事。		

給食室 改修後 平面図 S=1/50

備考			設計年月日 2025/01/16	担当者	承認	工事名称 妙高小学校 給食室改修工事	図面NO E-04
			印刷年月日 SJ備考設計			図面名称 電気設備 給食室 改修後 平面図	
						縮尺 A3 71% S=1/50	